



令和4年2月3日(木)、1年次「総合的な探究の時間」において、伊勢崎清明高校のキャッチコピー大賞の結果発表と特別授業を行いました。冬休みに事前課題として「伊勢崎清明高校」のよいところをアピールする「キャッチコピー」を考えて提出していた1年生は、大賞の結果発表とともに、クリエイターの特別授業を、オンラインによるリモート配信で、熱心に聞き入っていました。5つの受賞作品は以下の通りです。

プランナー賞 (株式会社進研アド 上野和幸) 【石原 海輝】

「先生までもが楽しめる学校」

クリエイティブディレクター賞 (株式会社ワークバンド 古屋貴広)

【荒井 日花里】

「せ 生徒が主役で

い いつでもハッピー

め めげずに勉強や部活に行事

い いい先生や部活もたくさん」

TUC 賞(高崎商科大学)【萩原 叶実】

「#ずっと学校していきたい」

OBOG 賞(2020年度伊勢崎清明高校卒業 野澤奈々子) 【渡邊 陽菜】

「一緒に育てよう。清明力を。」

1学年賞(伊勢崎清明高校一学年教員一同)【荒木 愛璃】

「見つけよう、未来の自分。変えていこう、明日の自分。」

受賞されたみなさんはそれぞれ賞状とすてきな副賞が贈呈されました。

さて、大賞は?という、この後、1年生全員の投票により決定します。

どんなキャッチコピーが選出されるのか、楽しみです。

今回の取り組みは新聞にも紹介されました。





令和4年2月4日(金)上毛新聞

高校にキャッチコピーを 清明高1年生 高商大と連携



伊勢崎

伊勢崎清明高(荒木隆校長)と高崎商科大(瀨上勇次郎学長)が連携して同高のキャッチコピーを考えるプロジェクトの第2弾が3日、伊勢崎市の同高で行われた。1年生約200人が作品の講評などを聞きながら、優れたキャッチコピーの作り方を学んだ。

生徒が冬休みに考えた作品を外部クリエイターらによる審査委員会で事前に審査。「先生までもが楽しめる学校」「#ずっと学校していきたい」など五つの優秀作品が発表されると、教室は拍手で沸いた。写真。

真下海乃さん(16)は「高校に合格したときの気持ちや今の学校生活を表現した。考えるのは楽しかった」、関根菜々美さん(15)は「他の人の作品には笑える表現やかっこいいフレーズがあり、新鮮だった」とそれぞれ話した。

プロジェクトは生徒の自主性や創造性を高めるのが狙いで、昨年7月の2年生向けに続いて実施した。事前に録画した審査委員の講評を各クラスで流した。後日、全作品を対象に1年生が投票し、大賞を決める。

(天笠美由紀)